

## 報 告 書 抄 録

ふりがな	しせき のしまじょうあと							
書名	史跡 能島城跡							
副書名	平成23・24年度 郭VI調査報告書							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第125集							
編著者名	田中 謙							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-0028 今治市別宮町一丁目4-1 電話 0898-32-5200(代)							
発行年月日	2014年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
のしまじょうあと 能島城跡	えひめけんいまばりし 愛媛県今治市 みやくぼちよう みやくぼ 宮窪町宮窪  6571、6572、  6573、6574、  6575番地	202		34°  10'  58"	133°  04'  51"	20111012 ～ 20120113  20120425 ～ 20120911	247 m <sup>2</sup>	保存目的  調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
のしまじょうあと 能島城跡	城館跡	中世	掘立柱建物跡、方形土杭、溝状遺構、柱穴		土師質土器、瓦質土器、国産陶磁器、輸入陶磁器、石製品、鉄製品、銅製品、鉄滓等			
要約	<p>鯛崎島の頂部に位置する郭VI（鯛崎出丸）は、中心部分は岩盤を削平し、周縁部分は盛土整地によって郭を成形していた。186基の柱穴が確認され、3棟の掘立柱建物跡が検出された。郭VI北区で検出されたSB-1は2間×2間の総柱建物跡と考えられる。SB-2は郭の中央やや東側で検出され梁間2間×桁行4間、SB-3は南西部で検出され梁間2間×桁行4間と推定される。柱穴埋土から遺物はほとんど検出されていないため、詳細な時期は不明であるが、いずれも桁行側が南北軸と揃っており、同時期に配置された可能性がある。出土遺物の時期は15世紀後半～16世紀が主体で、16世紀中葉～後半に比定される青花なども出土した。隣接する能島の出土遺物と同時期である。また貯蔵具、調理具、煮炊具など生活容器が豊富に出土していることから、郭VIにおいても居住性が認められる。</p>							